

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2022年2月
第220号

もくじ

報 告	2
各部局士会活動案内・報告	4
編集後記	11



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : beekun.sai@gmail.com

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.221 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月20日
No.222 6月号 (5月下旬～6月上旬着) メ切 4月20日
No.223 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月20日

No.224 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月20日
No.225 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月20日
No.226 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月20日

❖ 報 告 ❖

◆千葉県理学療法士会回想

一般社団法人千葉県理学療法士会 監事 西山 晴彦

それは、今を遡ること40年前（昭和56年：1981）ある日の午後、リハビリテーション室での会話から始まりました。「理学療法士会の会計係を担当してくれないかな」その頃の私は2年目の新米理学療法士。同窓でもある先輩の一言に何もわからないまま引き受けていました。この先輩こそ、後の第6代会長、現監事の宮前信彦先生でした。

その時の千葉県理学療法士会は結成10年目、第3代川名隆治会長以下会員は40名たらずでしたが、年齢も個性も多種多様でした。（当時は高校を卒業後すぐに養成校に入り理学療法士になるケースは少数派でした）勉強会、総会など何かあれば、ほぼ全員参加。顔の見える関係による活動がしばらく続きました。

元来、数字が苦手にもかかわらず引き受けた会計業務。なれない帳簿記入に数字が合わず電卓片手に四苦八苦していました。

当時（昭和56年：1981）の診療報酬に目を向けて見ると、理学療法は「複雑なもの300点」、「簡単なもの120点」という時代でした。

【その後も改定ごとに報酬は上がりましたが、平成18年（2006）の改定では、職種ごとの点数設定から疾患別の設定に変更され理学療法の名称が消えるとともに、それまでの右肩上がりの改定に終止符が打たれました。この改定には、平成16年（2004）の『高齢者リハビリテーション研究会報告書』が色濃く反映されていました。中でも、『長期間にわたる効果が明らかでないリハ医療が行われている』との指摘は衝撃的でした】

第4代神宮寺一夫会長退任後、昭和63年（1988）、第5代江澤省司会長が就任され、私は事務局財務部長を任されることになりました。

昭和61年（1986）には創立15周年記念式典が挙行されました。

平成2年（1990）4月には千葉県で最初の理学療法士、作業療法士養成校となる千葉県医療技術大学校（3年制）が開校しました。（現在の千葉県立保健医療大学の前身）

【当時は養成校新設には現在よりも規制がかけられており、新設する際は該当する都道府県の理学療法士会に意見を求めることになっていました。

昭和64年（1989）3月、江澤会長から沼田武千葉県知事（当時）あてに設置に関する要望書が提出されました。

その内容は①短期大学での設置もしくは将来短期大学への移行措置②養成校における教員数等の設置に関する最低基準についての要望でした。

要望に当たっては、千葉県担当者からの説明および意見聴取を受ける場所が千葉市内の飲食店に用意され、江澤会長をはじめ理事が出席し丁寧なおもてなしを受けたことを覚えています。

その後、平成11年（1999）の規制緩和政策により養成校の数は急激な増加に転じました】。

平成3年（1991）11月、日本理学療法士協会第26回全国研修会が千葉県担当にて「運動療法における装具を考える」をテーマに市川市で開催されました。

それまで、会員数の増加に反比例するかのように総会開催時の参加者数は低迷し、委任状を集めるのに毎回苦労していました。会員の県士会への関心度が悩みの種でしたが準備委員会が発足すると同時に、その心配はすぐに払拭されました。準備を進めていくうちに会員同士の結束は徐々に強まり開催期間中には一体となっていました。多数の参加者が全国から集い研修会は成功裡に終了いたしました。「みんな、やる時はやる！」そんな印象を強く持った出来事でした。

平成4年（1992）には、第6代宮前信彦会長が就任されました。同時に私が理事として事務局を担当することになり、会長就任まで事務局長としての長い道のりが始まりました。

平成7年（1995）3月にはかねてからの念願であった、学術集談会が第1回千葉県理学療法士学会に昇格し開催されました。このことが会員の学術研鑽への意欲をさらに高め、その後の理学療法の発展に寄与したことは間違いないと思います。

平成8年(1996)11月には千葉県理学療法士会創立25周年記念式典が挙行され、沼田武千葉県知事(当時)が来賓のご挨拶をされました。特別講演の講師として日本のリハビリテーション医学界の第一人者ある、上田敏教授をお招きできたことは望外の喜びでした。(テーマ:21世紀のリハビリテーション「理学療法士への提言」)。

宮前会長の背中からは、常に「人の話をよく聞くこと」「冷静であること」「謙虚であること」を無言のうちにメッセージとして受け取っていました。

平成11年(1999)、第7代吉田久雄会長が就任し平成13年(2001)には千葉県理学療法士会創立30周年記念式典が挙行されました。

平成16年(2004)9月、千葉県担当3度目となる関東甲信越ブロック理学療法士学会が開催されました。

開会式には堂本暁子千葉県知事(当時)が来賓のご挨拶をされました。特別講演には当時障害者福祉、スポーツ振興をライフワークとして啓蒙活動に尽力されていた、三笠宮寛仁親王殿下をお招きしご講演を賜りました。

この時、学会に皇室の方をお招きできた背景には殿下の気さくなお人柄と吉田会長の発想力、多彩な人脈とそれを活かす行動力がありません。

平成21年(2009)10月、任意団体から一般社団法人千葉県理学療法士会となり、名実ともに大人の団体としての新たな一歩を踏み出しました。

平成23年(2011)3月11日、吉田会長退任の年に未曾有の災害である東日本大震災が発生しました。当時の千葉県士会ニュースには、協会と連携した支援方針と共に「一番大切なことは負けないことです。皆様の横には仲間がいます。信頼できる仲間がいます。復興には長い長い時間が必要となります。焦らずに一步一步進んでいきましょう」と吉田会長からのメッセージが掲載され支援の輪が広がりました。

同年6月吉田会長の後を引き継ぎ、理事会にて私が第8代会長に選任されました。就任直後の新入会ガイダンスで卒後間もない新人から、理学療法士を取り巻く状況が厳しくなっていることについて、不安を訴える質問を受けたことが強く印象に残っています。

当時、3年後の平成26年(2014)に、4度目となる関東甲信越ブロック理学療法士学会を控え、担当者の選任に困難を極め行き詰っていたところ、竹内弥彦理事(当時)に窮地を救っていただいたことは、今でも忘れることはできません。

【平成25年(2013)5月、震災復興施策の一環である総合特別区域法により、千葉県では柏市に限り老人保健施設、病院または診療所以外での指定訪問リハビリテーション事業所の開設が可能となりました】。

平成25年(2013)6月、就任当初から世代交代を最優先事項として、次世代への橋渡しをすることが自分の役割と心に決めていましたので、一期二年の短期間ではありましたが退任することにいたしました。その後は、監事として現在に至っています。

同時に第9代田中康之会長が理事会にて選任され新体制が発足しました。

平成28年8月の第7回定時総会では総会の代議員制移行と理事の増員が決議されました。以後、理事会、総会での多様な意見の集約が可能となりました。

令和2年(2020)から本格的に感染拡大が始まった新型コロナウイルス感染症によって、生活意識や行動、会員が所属する職場においても過去の価値観を覆すような事態の中、5,000名を超える会員を擁する会の運営は難しいかじ取りを迫られてきたものと思います。

日本理学療法士協会と千葉県理学療法士会との関係、役割についても変化しつつあります。豊富な人脈と求心力を持つ田中会長、多様な分野で活躍されている役員の皆さんの力を結集することにより、この難局を好機に変え更なる発展を遂げるものと信じています。

私は、平成29年(2017)千葉県から文化の日・千葉県功労者賞、令和元年(2019)には日本理学療法士会から協会賞をいただきました。この上ない喜びでしたが、それ以上に田中会長をはじめ役員の皆様に理学療法士の仲間として推薦していただいた事が何よりも嬉しく誇りに思いました。

最後になりましたが、今日まで時間を共有させていただいたすべての皆様に感謝すると共に、千葉県理学療法士会の発展を祈念し筆をおきたいと思います。

ありがとうございました。

❖各部局士会活動案内・報告❖

📠学術局報告

学術局担当理事 局長 藤 井 顕

第27回千葉県理学療法士学会での履修報告を残し、千葉県理学療法士会で主催する新人教育プログラム並びに生涯学習研修会は終了いたしました。ご参加いただきました皆様、運営にご協力いただきました多くの皆様方に感謝申し上げます。

研究支援委員会セミナーについて

研究支援委員会 副委員長 稲 垣 武

研究支援委員会では、県士会員の皆様の研究活動に役立つようなセミナーを企画しており、今年度は既に「研究法入門」や「統計手法」、「抄録の書き方」などについて開催し、盛会に終えることができました。今後は「学会で魅せるプレゼンテーションの方法」や「論文作成、投稿方法」なども予定しています。また、来年度についても同様にセミナーを企画していく予定になっておりますので、県士会のホームページやTwitterをご確認の上、ぜひご参加ください。

新人教育プログラムの履修と修了申請について

学術局担当理事 局次長 小 林 好 信

本会への入会年度および現生涯学習制度での履修状況に応じて、新制度開始後に必要な履修内容が変わります。できる限り、現制度において新人教育プログラムを修了されることを推奨いたします。今一度、ご自身のマイページへの登録状況をご確認下さい。新人教育プログラムの修了には申請手続きが必要です。新人教育プログラム修了申請手続き方法については日本理学療法士協会ホームページをご参照ください。

新人教育プログラムの修了申請手続きについて

マイページへログイン > メニュー「生涯学習管理」>「履修状況確認」>「新人」ボタン >「修了申請」ボタンをクリックしてください。

15単位の履修後、マイページの履修状況確認画面に「修了申請」ボタンが表示されますので、クリックし

て、修了手続きをおこなってください。

※単位がマイページに反映され、修了要件を満たすと、修了申請ボタンが表示されます。修了申請ボタンをクリックし、修了申請を行った日が「新人教育プログラム修了日」となります（新入会員は下記参照）。

※修了申請から1～2カ月後に、新人教育プログラム修了証を郵送します。修了日は修了証でもご確認いただけます。

※修了日は最短で入会年度末です。

例）2020年度入会者の修了日は、2020年12月に修了申請ボタンを押しても、2021年3月31日（2020年度末）です。

2022年度の研修会について

学術局企画運営部 部長 室 井 大 佑

いよいよ2022年度より、登録理学療法士を含めた生涯学習制度に移行することになります。企画運営部として、まずは登録理学療法士の前期・後期研修にかかわる「症例検討会」の開催をサポートしていくこととなります。例年実施している生涯学習研修会は症例検討会の実施状況をみながら段階的に実施していくこととなります。そのため、現時点で2022年度の研修会の計画はしておりません。登録理学療法士は5年ごとに更新となり、基本的にはe-learningにて受講が可能となっておりますが、士会主催の研修会は更新のための単位となりますので、今後実施に関して検討していきます。また、ブロックや士会が承認した会員所属施設主催においても単位が認められることとなるため、その研修の開催をサポートしていくこととなります。

今後、更新される研修会の情報を注意深く確認していただければ幸いです。

📠職能局

ワークライフバランス部便り♪

●コロナ禍下のストレス

西 本 浩 子

新型コロナウイルス感染症の蔓延とその対策の影響を受け（R2.12/20現在）、仕事や生活に不安やストレ

スを感じていること、その長期化に疲弊していませんか？

みなさんご存知だと思いますが、ストレスとは…

1. ポジティブなもの、ネガティブなものがある。
2. こころや体に影響を及ぼす、ストレッサーには「物理的（気温など）」「化学的（薬物など）」「心理的・社会的（人間関係など）」がある。
3. ストレス反応は「心理的反応」「行動的反応」「心理的反応」の3つに分類され、それぞれ「1次的反応」「2次的反応」「重篤な反応」がある。

●3つの反応の「1/2次的反応」例 ・心理面；不安・怒り、興味・関心の低下 など ・身体的；発汗・心拍数増加、頭痛・胃痛 など ・行動的；飲酒増加、集中力低下 など ●3つの反応の「重篤な反応」例 ・不整脈、消化性潰瘍、過呼吸、筋緊張性頭痛、アルコール依存、適応障害 など ・ヒヤリハット増加、仕事でのミスや事故 など	
--	--

●3つの反応の「1/2次的反応」例

現在の状況をストレスと感じ、ストレス反応が長期化している場合、過剰なストレス状態に陥っているサインかもしれません。見直してください。そして専門家への相談も検討しましょう！

また厚生労働省のHP「こころの耳」には新型コロナ（こころのケア）、家族のこと、部下を持つ方へ、eラーニングなどストレスの様々な情報があります。一度ご覧ください。

こころの耳：働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト (mhlw.go.jp)

今年度、会員に対して「ストレスチェック」を実施予定です。結果を県士会活動へつなげていくために実施します。ぜひご回答ください。

第27回千葉県理学療法士学会関連報告④

●運営局長挨拶

事務局長 牧 原 由紀子
(国際医療福祉大学)

この度、第27回千葉県理学療法士学会にて運営局長を拝命しました、国際医療福祉大学の牧原由紀子で

す。運営局では同じく国際医療福祉大学の石井秀明先生と協力しながら、本学会が滞りなく開催・進行されるよう、当日の運営準備を進めております。

いよいよ学会当日が近づいてきました。今回の県士会ニュースでは、各講演およびシンポジウムの内容と講師の先生方をご紹介します（敬称略）。

【基調講演】

9:30～10:30（ライブ配信）

理学療法士という仕事の「芯」

〈座長〉西田 裕介（本大会学会会長）

田中 康之（千葉県理学療法士会会長）

坂田 祥子（千葉県作業療法士会会長）

岩本 明子（千葉県言語聴覚士会会長）

【シンポジウム Covid-19診療の工夫】

10:40～11:40（ライブ配信）

「真」実一路

〈座長〉

古川 誠一郎（千葉大学医学部附属病院）

〈シンポジスト〉

瀧澤 航希（タムス浦安病院）

鳥居 和雄（船橋市立リハビリテーション病院）

今村 創（東京女子医科大学附属八千代医療センター）

【特別教育講演】

13:30～15:00（ライブ配信）

スペシャリストの「診」

岩永 竜也（松戸整形外科病院）

川井 誉清（松戸整形外科病院）

後藤 和也（国際医療福祉大学成田病院）

【スペシャルシンポジウム】

13:30～15:30（ライブ配信）

理学療法士の「伸」な生き方・働き方

〈座長〉

児玉 美香（君津中央病院）

牧原 由紀子（国際医療福祉大学）

〈シンポジスト〉

小川 克巳（参議院議員 小川克巳事務所）

園部 俊晴（運動と医学の出版社、ほか）

檜 強拓（JA北海道厚生連 倶知安厚生病院）

安孫子 幸子（伊藤超短波株式会社）
山崎 愛美（産後リハビリテーション研究会、ほか）
小倉 秀子（自宅）

【シンポジウム 医療・地域連携】

15:10～16:10（ライブ配信）

「進」化と変化

〈座長〉

樋口 謙次（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

〈シンポジスト〉

橋本 典之（柏の葉訪問リハビリテーション）

金子 達哉（柏たなか病院）

小澤 直史（柏厚生総合病院）

【教育講演（オンデマンド配信）】

知の「新」陳代謝

〈内部領域講師〉

河野 健一（国際医療福祉大学）

〈基礎領域講師〉

江戸 優裕（千葉県立保健医療大学健康科学部）

〈神経領域講師〉

石渡 正治（季美の森リハビリテーション病院）

〈小児領域講師〉

松田 雅弘（順天堂大学）

〈地域領域講師〉

中村 睦美（東都大学）

※講演内容は都合により変更となる可能性がありますので予めご了承ください。

※基調講演、シンポジウム、特別教育講演、スペシャルシンポジウムはライブ配信、教育講演はオンデマンド配信、演題発表はオンデマンド配信（スライド動画）とライブ配信（質疑応答）となります。

多岐にわたる領域のスペシャリストが一堂に会し、学会テーマである「理学療法の“シン”を問う」に沿った様々な講演が展開されます。自宅にいながらそれらを視聴できる機会はなかなかありません。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。本学会への参加は事前参加登録が必要です。詳しくは学会ホームページ（<https://procomu.jp/chibapt27/index.html>）をご覧ください。

●学会広報局からのお知らせ

広報局 井 上 靖 悟、豊 岡 毅
櫻 井 陽 子、後 藤 悠 人

いよいよ待ちに待った学会が始まりますね。

広報局では、これまで県士会でご活躍される先生方にインタビューを行って参りました。偉大な先生方も学会を通じて様々な出会いや学びがあり、今の活動につながっていると仰っておりました。学会にはチャンスやヒントがゴロゴロしているのだと思います。また、オンライン学会の楽しみ方なども先生方に伺っております。是非、インタビュー記事をご覧になり学会へ参加いただけますと幸いです。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

📺ブロック活動報告

●香取海匝ブロック

障がい者スポーツ紹介・交流会を開催してみて

香取海匝ブロック 公益事業担当

厨 川 圭 介

（銚子市立病院）

この度、令和3年11月24日に香取海匝ブロックにて障がい者スポーツ紹介・交流会をオンラインにて開催いたしました。参加者はPT、OT、行政関係者、障がい者スポーツをサポートしている方、実際に参加されている障がい者の方々、総勢42名にご参加いただくことができました。

香取海匝地域の障がい者スポーツの現状として養護学校を卒業後に継続できるスポーツの機会や場が少ないことやどんなスポーツがどこで出来るのか情報が無い。そして、医療従事者が障がい者スポーツに携わる機会が少なく興味・関心を持ちにくいなどの現状がございました。

スポーツ庁の調査においても『障がい者がスポーツに触れる機会が非常に少ないのではないか』との報告がなされ、環境を整備するプロジェクトを発足し、始動している中で当ブロックにおいても会を通してスポーツに関する情報を参加者の皆様と共有して、地域ネットワークを構築するきっかけを作ることによって障がい者の方やご家族に還元出来れば素晴らしい事と考えております。

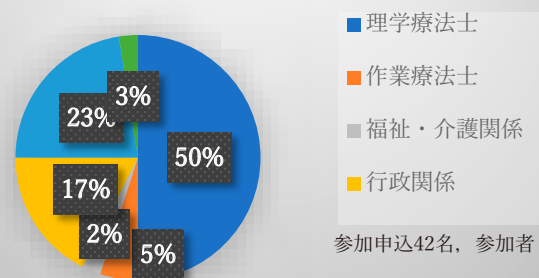
今回、ご紹介した内容として『ボッチャ』や『ゴルフサークル』、『釣り部』の紹介から始まり、『散歩の会』、『ローリングバレー』『ウイルチェアダンス研究会』の障がい者スポーツをサポートされている方々より実際の活動映像を観ながらご説明をいただきました。映像の中では参加者からのインタビューもあり、笑顔と自信に溢れている様子が伺えました。その後、交流会にて障がい者スポーツのサポートメンバーより立ち上げたきっかけや障がい者に対応する際に配慮している事、または行政やリハビリ職に期待している事などの意見交換を行いました。

意見交換の中で改めて感じた点として障がい者スポーツは当の本人だけでなく、そのご家族やご友人、一緒に活動している障がい者の方、サポートしている

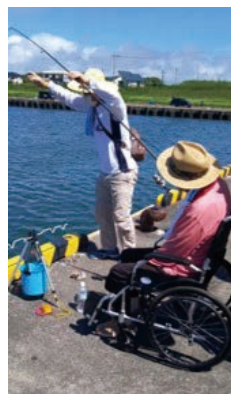
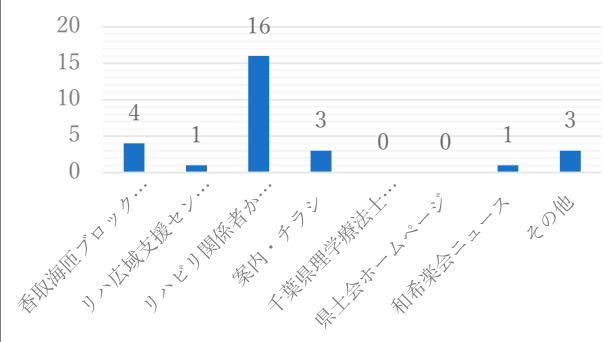
方々に良い影響をもたらしている点です。これらは様々な『縁』があつての結果だと思います。このような『縁』を拡げていけるように今後も香取海匠ブロックコアメンバー一同勤しんでいきたいと思いますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

香取海匠ブロック 障がい者スポーツ紹介交流会参加者アンケート結果

職種・所属別参加者割合 (運営含む)



研修会をどこで知りましたか？



一般社団法人千葉県理学療法士会

令和3年度 第7回理事会 議事録

日 時：令和3年11月12日（金）19時00分～20時00分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦、
高橋 聡、児玉美香、藤井 顕、
松川基宏、小川明宏、中村亮太、
外口徳章、藤川孝彦、榎尾英之、
松田 徹、森田悠介、西田裕介、
山岡郁子、桑江 豊、草木雄二、
小林好信、渡辺政基、高杉 潤、
三和真人

〈監 事〉宮前信彦、吉田久雄、西山晴彦

〈委員長〉内村 元

〈欠 席〉

〈事務局〉萩原千春、奥村龍之

〈書 記〉菊池俊明

1 報 告

1) 会長報告

10月8日（前理事会終了後）から本日までの行動
概要および11月中の主な予定が報告された。

2) 三役局長会報告

議案の調整をしたことが報告された。

3) 全会員への郵送物内容について

会員への郵送物の進め方について報告された。

4) 50周年記念のマークについて

以下のとおり、報告された。（高杉理事作成）



5) 職能局会員情報交換会「コロナ等の対応に関するWeb座談会」について

「コロナ等の対応に関するWeb座談会」を開催することが報告された。

6) WLB部 会員向けストレス調査について

趣意書、計画書について報告された。

7) 本部および各ブロックの事業状況について

11月10日（水）に、本部会議兼ブロック長会議を開催予定であることが報告された。

8) 第27回千葉県理学療法士学会の準備状況

準備状況及び学会演題登録数は56件（11月1日現在）であることが報告された。

9) 臨床実習指導者講習会の進捗報告

11月4日時点で合計475名が終了したことが報告された。

10) 日本理学療法士協会代議員選挙について

日本理学療法士協会代議員選挙スケジュール（案）が提示されたことが報告された。

なお、立候補者数が少ない場合、代議員と補欠代議員の選考が必要となる。

11) 協会指定管理者研修（初級）の開催について

2021年12月15日（水）となることが報告された。

12) 理学療法士講習会について

「申請5 臨床におけるコミュニケーション教育」に決定したことが報告された。

2 審議事項

13) 講師・世話人の認定申請について

新たに4名の新規申請者の認定が承認された。

14) 今年度の士会指定事業について（介護予防推進部）

研修修了要件の一つとして「士会指定事業への参加」があるが、その指定事業及びe-learningの受講免除要件の推薦要件について承認された。ハラスメント講習会を士会指定事業に入れることについて次年度以降考慮する。

15) 特別支援教育に関わる理学療法士調査について

「特別支援教育に関わる理学療法士調査」に関する事業概要が報告され、アンケートの実施について承認された。なお、アンケートについては今後作成予定。

令和3年度 第8回理事会 議事録

日 時：令和3年12月10日（金）19時00分～20時05分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、高橋 聡、
児玉美香、藤井 顕、松田 徹、
小川明宏、中村亮太、外口徳章、
藤川孝彦、榎尾英之、森田悠介、
西田裕介、山岡郁子、桑江 豊、
草木雄二、小林好信、渡辺政基、
高杉 潤、三和真人、松川基宏

〈監 事〉宮前信彦、吉田久雄、西山晴彦

〈委員長〉内村 元

〈委任状〉竹内弥彦

〈欠 席〉

〈事務局〉萩原千春、奥村龍之

〈書 記〉菊池俊明

1 報告事項

1) 会長報告

11月12日（前理事会終了後）から本日までの行動概要および12月中の主な予定が報告された。

2) 三役局長会報告

議案の調整をしたことが報告された。なお、50周年記念については、来年11月頃に対面での式典を検討していることが報告された。

3) 全会員への配布物について

配布内容は学会、各部局、ブロックに関する内容を検討していること及び、1月下旬から2月上旬にかけて発送を予定していることが報告された。

4) Zoomアカウントの運用フロー変更について

参加者が大規模（100名以上）となる際には薄事務局長、アカウントの利用が2つになる際には松田事務局次長へ申請をすることが報告された。

5) 新プロ履修状況について

修了率80.60%（2021年10月31日現在）及びその他のデータ状況について報告された。

6) 新生涯学習システムに関するブロック説明会について

新生涯学習制度に向けてブロック学術担当者向けの説明会を12月17日（金）に開催予定であることが報告された。

7) 障がい児・者支援部主催2021年度こどものリハビリセミナー 企画書について

テーマ「特別支援教育へのセラピストの関りきほんのき」及び概要について報告された。

8) 令和3年度 地域ケア会議・介護予防推進リーダー導入研修について

開催日時は令和4年2月27日（日）、内容は以下のとおり報告された。

①介護予防推進リーダー導入研修：9時30分～12時30分

②地域ケア会議推進リーダー導入研修：13時30分～17時40分

9) 第27回千葉県理学療法士学会の準備状況について

学会演題数102題及び、学会運営会社プロコム担当者が変更されることが報告された。

10) 臨床実習指導者講習会の進捗報告

11月3日時点で合計567名が終了したこと及び今後の予定について報告された。

11) 管理者NW委員会合同開催 ハラスメント相談対応研修会について

ハラスメント相談対応研修会について、令和4年1月30日（日）に開催予定であることが報告された。

12) 災害対策委員会事業計画変更について

災害対策研修会について、令和4年1月23日（日）に開催予定であることが報告された。

なお、年度当初の事業計画では年度内に2回の研修会を予定していたが、2回目の研修会を次年度に先送りすることが併せて報告された。

2 審議事項

1) 講師・世話人の認定申請について

新たに9名の新規申請者の認定が賛成多数で承認された。

2) 補正予算の申請について

8月より臨床実習指導者講習会がオンライン開催での対応となり、1グループの推奨定員が10名から6名となった。これに伴い必要世話人数が増加したため、当初予算での世話人用の謝金が不足している状況であった。以上の理由により今年度の補正予算400,000円について提案され、賛成多数で承認された。

3) SNS運用規定の内容追加について

SNS 配信内容の追加ルールについて、以下のとおり賛成多数で承認された。

追加内容：配信内容は基本方針に則り県士会以外の講習会や学会への誘導やリンクなどは行わないこと。

4) 規程の承認について

以下、4つの規程の変更方針について、賛成多数で承認された。

①求人広告規程、②慶弔見舞金規程、③公印規程、④文書保管規程。

3 その他

理事会の終わりに会長から次年度の県士会事業運営方針は他県士会の動向も情報収集して、1月の上旬には何かしらの理事に発信する旨口頭で伝えられた。



❖ 編集後記 ❖

● 今後への抱負

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

日に日に寒さが増してきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さまいつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今回もニュースの冒頭より『千葉県理学療法士会 西山先生に原稿執筆いただき、巻頭をかざっていただきました。』

今回の西山先生の巻頭言も千葉県理学療法士会の歴史が手に取る様にわかり、読み応えが有りました。

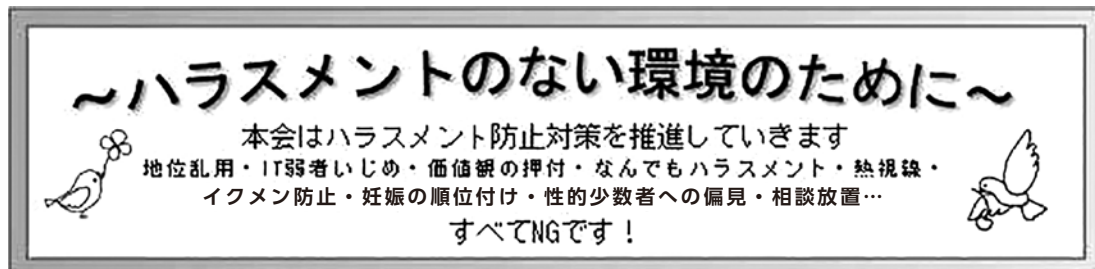
巻頭言内にも有りましたが、現在、千葉県理学療法

士会（以下：県士会）の会員は5,000名を超えております。多くの会員の方々に県士会活動が伝えられる様に我々ニュース編集部も努力していかないとなりません。

県士会ニュースが皆さまのお手元に直接届かなくなり、県士会ホームページに掲載される様になって8日目となりました。今後も、会員の皆さまが県士会ホームページを開き、県士会ニュースを開いて読んでいただける。そして、2か月に1回の県士会ニュースの発行を楽しみにしていただける様に、良い物を作りたいと思います。

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

今回のニュース原稿の締め切りは
令和4年2月20日です！



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 纈 琢 磨
t.kouketsu@asunargroup.com

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1

千葉中央ツインビル1号館1005号室

Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066

(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会

小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1

Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684

Mail t.kouketsu@asunargroup.com